

「生き生きどいっ子」の育成を目指して

今年度は二十八名の一年生を迎え、全校児童百四十七名で令和六年度がスタートしました。地域の方々や保護者の皆様方には、様々な場面で世話になっており、大変感謝をしております。

さて、今年度も学校教育目標を「生き生きどいっ子」とし、子どもたち一人一人が主人公となり、生き生きと輝けるよう、取り組んでまいります。そして、子どもたちが「明日も行きたい。」と思える学校、また、保護者や地域の方々に「子どもを行かせたい。」と思っていただけの学校を目指し、教職員一同が「チーム土居小」として、教育活動を進めてまいります。今年度もご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

◎学校教育目標

「生き生き どいっ子」

◎めざす子ども像

- ・学んだことを生かして自ら考え行動する子
- ・相手が納得するように、自分の考えを伝える子
- ・仲間とともに粘り強く挑戦する子

◎令和六年度重点事項

- ・自分から考え、生き生きと表現する児童の育成 〳対話によって学びを深める授業の工夫
- ・児童の自主的・実践的な活動となる特別活動の推進
- ・個に応じた指導・支援力の向上を目指した発達支持的生徒指導（特別支援教育）の充実

具体的な取り組み

1 「確かな学力」の育成

児童が基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力を身に付けることができればよい努めます。そのために、児童が見通しをもち、課題を解決しようしたり、新たな考えや、自他のよさに気付いたり、学習の振り返りをしたりすることができ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。

3 健康教育・生活指導の充実

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うとともに、基本的生活習慣の定着を促進します。

4 安全教育・危機管理の徹底

様々な自然災害や事件・事故等の危険から命を守り抜こうとする意識をもたせるとともに、危険の要因や状況を判断し、進んで安全な行動がとれるよう、生涯を通じて安全な生活を送るための基礎を養います。

2 心の教育（道徳教育、人権教育）・特別支援教育の推進

児童にとって学校が、安心・安全な居場所となるよう努めます。特に「あいさつをする」「整頓をする」「きまりを守る」取組を推進します。また、児童に応じた教育の充実を図るとともに、考え議論する道徳教育や人権教育の推進、様々な体験活動や表現活動等を通して豊かな心や創造性を育成します。

5 保護者・地域・関係機関との連携

児童がふるさと土居を愛し、夢・志をもち、他者と協働しながらたくましく未来を切り開いていく「生きる力」を育むことができる「地域学習」に取り組みます。また、様々な教育活動への幅広い地域の方々の参画を得、土居小の児童を健やかに育むことを目指します。